

議会報告会での意見・要望等 《学生との意見交換分》
【分類2相当であり、類似のものは集約】

高校、大学等の学生から出された意見については、市の第6次総合計画まちづくり総合プランの施策体系に合わせた形で以下のように分類しています。

第1編 はぐくみ：未来を拓く人がはぐくまれています

【第1章】安心して子どもを産み、育てることのできるまち

- ・幼稚園や保育園に希望するタイミングで預けられるような、子育て環境がしっかりしているところが理想。【高校①】
- ・大牟田は、介護や福祉など高齢者への政策は充実しているが、子どもや子育て世帯への政策が弱いように感じる。【高校②】

【第2章】持続可能な社会の創り手を育成する学校教育が充実しているまち

- ・診療放射線学科のことが、やっと認知されてきた。被曝の恐れなど間違って認識されているので、正しい知識を知ってもらう機会を持ち、検査に対する不安を取り除きたい。【帝京大学】
- ・外国の方も増えてきているので、英語教育を充実してほしい。【高校②】

【第3章】専門的な教育の機会が確保され、高等教育機関等との連携や交流が進むまち

- ・幼稚園の教育資格と保育士の資格が同時に取れる大学を誘致してほしい。【高校①】
- ・実習として学童保育等に参加し、子供とふれあう場が欲しい。健康な子供の状態を学ぶことができ、かつ、子供にとっても年齢が近い学生が遊び相手であれば話しやすく、お互いにとっていい形になるのでは。【帝京大学】
- ・授業で習ったことを発表・実践する機会がない。企業に向けた健康のための説明会や、中高生に対しての性教育、また健康づくり市民大会などのイベントへの参加など、市民と交流できる場を整えてほしい。【帝京大学】
- ・新型コロナウイルスの影響により、勉強しても生かす場がなく、技術が有り余っていると感じている。大牟田で学んでいるため、大牟田に還元して自分たちの力にしたい。【帝京大学】
- ・ドローンを活用した災害被害調査や、徘徊者の捜索をしたらどうか。【帝京大学】
- ・帝京大学と市が連携して、大学の学園祭やスポーツ大会など中心になって活動できたらよい。【帝京大学】

- ・大牟田わかもの会議の中でSlack（スラック）というアプリを使って交流したので、そのようなツールを活用してはどうか。【帝京大学】
- ・オープンキャンパスなどの大学の様々な機会を利用し、地域の方を呼んで交流したい。【帝京大学】
- ・作業療法学科では、VRを活用する授業がある。3Dプリンターも備えてあるので、日常生活で活用できるものを低コストで作ることができる。【帝京大学】
- ・感染対策を重視し、正しい手洗いや消毒の仕方をより多くの人に知ってもらうための取組を大型商業施設で行いたい。正しい仕方を教えることで、自分たちの技術力向上につながり、コミュニケーションを図ることもできる。オープンキャンパスだと躊躇して来学してもらえないが、大型商業施設だと買い物の途中で寄ることができ、大学生と市民の交流も増える。【帝京大学】
- ・10月14日からユネスコ協会ユースとして広報活動をしている。大牟田には、高専があり、高校も多い。特に、高専、三池工業高校など専門性が強いので、共同研究をしてはどうか。大学と企業だけでなく、高校生と大学生のつながりがあればいろいろな活動ができるのではないか。【帝京大学】
- ・市内で行われているまちづくりのイベントが、決まったグループ内の話し合いで行われ、限られた人しか共有できていないのではないか。若者を中心としたまちづくりのためには、そこに学生が参加し、学生が主体となって企画し運営することがあるといいと思う。Shopbot[※]（ショップボット）も使いボランティアとして参加したりできるといい。【有明高専】

※先端に取り付けた刃物で板状の木材を切断・穴あけ・彫刻をすることができる機材

【第4章】未来に向けて、ともに学び、地域で行動する人がはぐくまれるまち

- ・大牟田市は人口が多いが高齢者の割合も多く、高齢者に関する支援策も必要だが、若者が出て行かないように若者を取り入れていくことも必要ではないか。【高校①】
- ・ボランティア団体において高齢化が進んでいるため活動頻度が少なくなっている。そのような活動をもっと多くすることで地域活動を盛り上げていったらいいのではないか。【高校①】
- ・外国の人を受け入れることも大事だが、日本人の暮らしやすさとのバランスも大事だと思う。【高校②】

【第5章】スポーツを通して生きがいに満ち、活気にあふれるまち

- ・大牟田市には人工芝があるサッカー場がないため、他市の人工芝のあるサッカー場に行く。大牟田市にも人工芝があるサッカー場を設置してほしい。【高校①】
- ・市内の各スポーツ団体の情報がない。【帝京大学】
- ・救急救命士コースでは、救急救命士だけではなく、消防士になる人もいる。地域

とのつながりを強くするために、スポーツ団（団体）を作ったらどうか。【帝京大学】

- ・スポーツ系・アウトドアやeスポーツなどが、気軽にできる施設や支援をして力をいれてほしい。人も集まるはず。【高校②】

【第6章】文化芸術に親しみ、心豊かに生活できるまち

- ・大牟田市世界遺産は学習の場として行くイメージなので、それ以外に観光になるものを増やしてほしい。【高校①】
- ・トリックアートの美術館など設置してほしい。【高校①】
- ・大牟田に世界遺産があることを大学に入学して初めて知った。そして、観光ルートがあることもポスターで知った。もっと大々的に知れ渡るようなアピール活動をすべきだ。【帝京大学】
- ・宮原坑の来訪者が少なくいつも人がいない。地元の人にしか知られていないのではないか。【有明高専】
- ・世界遺産でイベントを行いPRすれば、人も集まるのでは。【高校②】

第2編にぎわい：地域の宝が活かされ、にぎわいのあるまちになっています

【第1章】企業・産業が発展し、活力あふれ成長するまち

- ・大きいビジネスホテルが少ない。【帝京大学】
- ・みやま市にはルフラン（旧山川南部小学校校舎を活用したアットホームなチャレンジカフェ）があり、気軽にチャレンジができるので、大牟田市にもそのような施設があると若い人が気軽にチャレンジできるので考えてほしい。【高校②】
- ・女子には美容系が人気があるので、美容系の仕事や学校などがあれば地元に残るのではないか。【高校②】

【第2章】人とももの行き交い、にぎわうまち

- ・遊べる場所が少ない。【高校①】
- ・大牟田市内にデートスポットがほしい。【高校①】
- ・荒尾市からみると、大牟田市は最高の湯やネットカフェ、映画館など遊ぶ所はあると思う。【高校①】
- ・銀水駅や吉野駅など学生が多く使う駅に、勉強や交流ができる椅子・テーブルのあるスペースや、喫茶店・フードコートなど設置してほしい。【高校①】
- ・大牟田市はおいしい店が多いが大牟田市でしか食べられないグルメを開発してほしい（スイーツなど）。【高校①】
- ・大牟田駅付近で大きなイベントを行い、人を集めてはどうか。【高校①】
- ・ごみ拾いをしながら散歩。高齢者と学生が一緒にごみを拾いきれいなまちにする

- ことを通して、運動しながら世代を超えた交流を図ることができる。【帝京大学】
- ・住み続けるまちという観点で、長崎には伝統的な祭りが長崎くんち、ランタンフェスタなどいくつかあり、それが好きで住み続ける人がいる。大牟田には大蛇山祭りはあるが、若者にあったイベント、例えば、有名なバンドを招く、広い諏訪公園の活用や有明海から花火をあげるなど、もっと増やしていけば、外に出た人も戻って来るのではないか。また、西鉄電車、JRを利用して人が来るのではないか。【帝京大学】
 - ・大牟田駅西口で、若者が注目するイベントを企画してはどうか。【帝京大学】
 - ・大蛇山まつり以外にも大きな祭りを。【帝京大学】
 - ・新栄町のえるるで勉強する学生、高校生等が多いが、手軽に利用できる食事場所やコンビニが近くにない。【有明高専】
 - ・新栄町一帯がさびれている。今後どうなっていくのか。【有明高専】
 - ・大牟田市は観光資源もあり、待機児童が少ないといった魅力があるので、移住定住にもっと力を入れたほうがいい。大牟田市が率先して取り組むことで、知名度も上がる。【高校②】
 - ・地域で老若男女集まることのできる施設があるといいと思う。【高校②】

【第3章】豊かな自然を活かした魅力と競争力ある農業・漁業のまち

- ・三池山または参道の整備をしてほしい。獣道すぎる。【高校②】

第3編やさしさ：支えあい、健やかに暮らせています

【第2章】生涯にわたって健康で元気に暮らせるまち

- ・高齢者に対する「よかば〜い体操」の普及。【帝京大学】
- ・ゆめタウンに高齢者向けのスポーツジムを設置。（カーブスと市の連協提携を実施）【帝京大学】
- ・認知症予防のために、大型商業施設などで体操教室を開催してはどうか。【帝京大学】
- ・認知症予防のために、クロスワードパズルなどのチラシを作成してはどうか。【帝京大学】
- ・街角で気軽に話せる・行えるストレスチェックをしてはどうか。【帝京大学】
- ・認知症予防のために、高齢者の方々にとっては地域の役割が大切だと思う。高齢者のためのイベントを行う。【帝京大学】
- ・市の中心に画像映像センターをつくり、市内の検査データを集めて患者が何度も検査を受けなくて済むようにできればと思う。【帝京大学】
- ・大牟田消防署で救急の実習を受けている。大牟田市立病院は、2次救急医療機関のため、救急患者が遠くの3次救急医療機関に搬送されることが多い。高度医療

ができる」と高齢者も安心だと思う。【帝京大学】

- ・高齢者が参加できるイベントがあれば良い。【帝京大学】
- ・高齢者が地域での役割を持つことで認知症予防にもなる。【帝京大学】

第4編 暮らし：都市と自然が調和した快適なまちになっています

【第1章】魅力ある都市空間が形成されたまち

- ・大牟田駅の空きスペースを活用して各学校の部活動や特徴の紹介を月替りで行えば多くの世代へのアピールになると思う。【高校①】
- ・イオンと大学周辺の道路の草が伸び放題で、草まけをするので除草してほしい。【帝京大学】
- ・空き家について、その古さを利用して、高齢者にとっては居心地がよく、親が家にあまりいない小・中学生の子供たちなどにとっては祖父母の家に来たような感覚になるような、そういう施設に生まれ変わらせるとよいのでは。【高校②】
- ・施設や店などが、それぞれ点在しているので、移動しづらいし、集まりにくい。施設と施設が固まっていたほうが、徒歩で移動できやさしいまちになるのでは。【高校②】
- ・道の雑草を刈るなどの環境整備をしてほしい。【高校②】

【第2章】交通ネットワークが整ったまち

- ・生活や交通の利便性が重要だと思う。【高校①】
- ・市外から通学しているが、交通費がかかる。アルバイトをしながら交通費を捻出しているが、交通費は学生にとって負担になる。交通費がもっと安くなるとありがたい。【帝京大学】
- ・大牟田駅西口から乗車するが、イオンを利用する人と重なり、バスの時間帯が合わない。また、雨の日は混雑する。【帝京大学】
- ・西口からのバスは「イオン行」しかなく、移動手段がネックである。交通の便をいかに良くするかが課題。【帝京大学】
- ・老若男女が暮らしやすくあるために、バスを小さくして便数を増やしたり、コミュニティバスなどの移動支援を充実させてほしい。また福岡市や宗像市には「のるーと（オンデマンドバス）」という仕組みがあるので、検討してほしい。【高校②】

【第4章】地球や自然を大切にするまち

- ・環境問題に興味があり、通勤しながらごみ拾いをされている人を見かける。若者にとってはごみ拾いは楽しくないものだが、レース形式にするなど楽しめる要素を盛り込み、また景品として地元の特産品のみかんやノリなどをプレゼントする

など考えてほしい。【高校②】

第5編 あんしん：安心して安全に暮らせています

【第1章】事故や犯罪のない安心して暮らせるまち

- ・地域で見通しが悪い通学路（久福木）があるので安全な道路管理をしてほしい。
【高校①】
- ・大牟田駅西口付近の道路に、カーブミラーを設置してほしい。【帝京大学】

【第2章】災害に強いまち

- ・3年前の豪雨災害を経験し多くの家屋が浸水した。自然災害の不安が少ない安全なまちにしてほしい。【高校①】
- ・大牟田市は水害が多い印象があるため、3Dプリンターを活用して、災害時の避難の際に身を守る自助具を製作できるとよい。【帝京大学】
- ・4月に入学して、7月の大雨でアパートにぎりぎりの所まで水が来た。水害対策をしっかりとしてほしい。【帝京大学】
- ・人と人とのつながりが強いまちがいい。大牟田は、高齢者のひとりぐらしが多いので、災害などのときに「大丈夫ですか」と声をかける地域がよい。【高校②】

【第3章】消防・救急・救助体制の充実したまち

- ・消防団に入団しているが、活動がほとんど見学なので、できることから参加したい。【帝京大学】

計画の実現に向けて

【第2章】地域の魅力を積極的に発信します

- ・大牟田駅の掲示物を活用し、若者から情報を発信する取組をしてはどうか。写真部の写真を掲示などもできる。【高校①】
- ・スマートフォンは個人の興味のあることしか表示されず、SNSやホームページの情報はなかなか見つけにくい。市や民間が主催するイベントを掲示する掲示板を駅前に立てるほうが、広く周知ができるのでは。また、広報おおむたをより目に付きやすい様々な場所に置き、市の取り組みやイベントを見つけやすくする。
【帝京大学】
- ・市の情報が少ない。広報紙は市内に住んでいる人は見たことがあるが、試験や病院等での実習などで忙しい時期などに、PR動画やラジオなど、目で見ると聞くいいツールがあればありがたい。【帝京大学】
- ・20年間住んできて、大牟田は、魅力的なポイントを外に出しきれていない。実行力に欠けている。市民に伝えれば協力してくれると思う。広報、発信、能力、

実行。【帝京大学】

- ・福岡市のプロモーション動画は、高画質で映像の動き方などが魅力的。大牟田市も他市を参考に、三池港の夕日やおいしそうなお食べ物など、市として映像に力を入れてはどうか。【有明高専】
- ・市外から来て、大牟田はおしゃれなカフェがたくさんあることを知ったので、マップなどを作れば市外から来た人も楽しめるのでは。【有明高専】
- ・会社のPR動画などをショートムービーで見ることがあるので、そういう機能がついたSNSも活用できるのでは。【有明高専】
- ・大牟田出身の人が、割と有名になっている。例えば、今年のドラフト会議など。そういう人が出たときに、大牟田をアピールしたり、またその人にアピールしてもらおうと大牟田を知ってもらえる。【高校②】

【第4章】行政サービスの利便性を高めます

- ・進学して首都圏へ出ることを考えているが、先々は戻ってきたくなくなる制度が充実していればいい。【有明高専】
- ・本市は暮らしやすく交通の便が良く立地もよい。福岡県内に就職し、先々は市に戻りたい。【有明高専】
- ・今は大牟田でも外国の方が増えてきている。文化などの違いもあり困ってある点もあるので、簡単に説明（例：水道→水、道路→道など）できるものがあればいいと思う。【高校②】

上記の意見・要望等につきましては、市当局に伝えるとともに、真摯に受け止めて善処するよう依頼しています。

また、これらの意見・要望等につきましては、必要に応じて、議会の常任委員会や特別委員会の場合などで、議員から直接、市当局に考え方等を尋ねたり要望として伝えたりすることとしています。